グラフとネットワーク 第 9 回
連結性：数理とモデル化

岡本 吉央
okamotoy@uec.ac.jp

電気通信大学

2016 年 6 月 20 日

最終更新：2016 年 6 月 20 日　14:32

スケジュール 前半

スケジュール 後半 (予定)

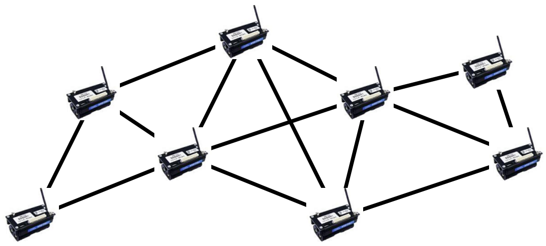
注意：予定の変更もありうる

概要

今日の目標

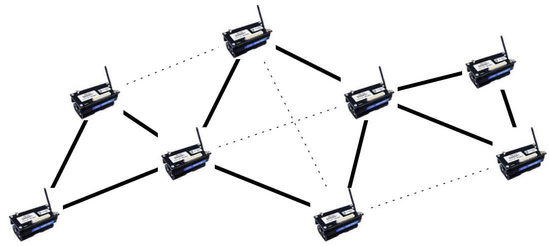
- グラフの連結性に関する概念を理解し，正しく使えるようになる
- 連結度に関する Menger の定理を最大流と関係づけられるようになる

センサネットワークにおける通信



http://www.ipros.jp/product/detail/153568008/

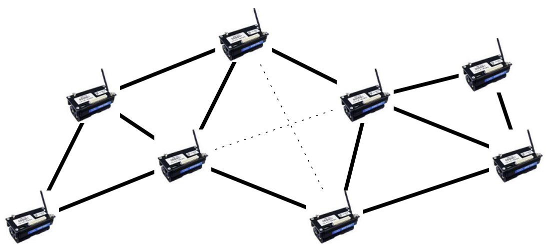
センサネットワークにおける通信：リンク故障



http://www.ipros.jp/product/detail/153568008/

⇝ 辺連結度：リンク故障への耐性を表す数

センサネットワークにおける通信：ノード故障



http://www.ipros.jp/product/detail/153568008/

⇝ 点連結度：ノード故障への耐性を表す数

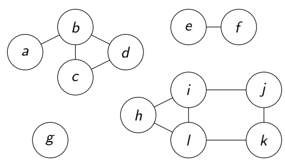
グラフの連結性 (復習)

無向グラフ $G = (V, E)$

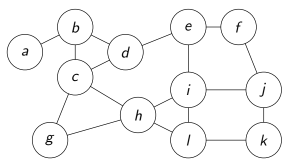
グラフが連結であるとは？

G が連結であるとは，
任意の 2 頂点 $u, v \in V$ に対して，u から v へ至る道が存在すること

連結ではないグラフは非連結と呼ばれる



非連結グラフ



連結グラフ

注：「グラフが連結している」とは言わない

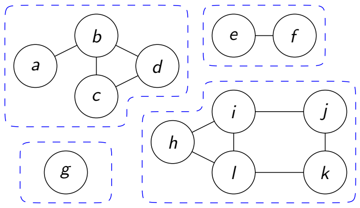
グラフの連結成分 (復習)

無向グラフ $G = (V, E)$

グラフの連結成分とは？

G の連結成分とは，G の極大連結部分グラフのこと

(「極大」とは，グラフの包含関係を半順序であるとみなしたときの「極大」)



連結成分の数 $= 4$

グラフの切断辺 (復習)

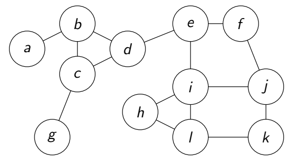
無向グラフ $G = (V, E)$，辺 $e \in E$

グラフの切断辺とは？

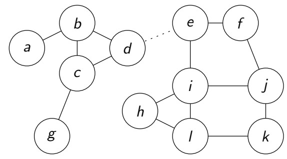
e が G の切断辺であるとは，
G から e を除去したグラフ $G - e$ に対して次が成り立つこと

$G - e$ の連結成分の数 $>$ G の連結成分の数

$\{d, e\}$ は G の切断辺



G



$G - \{d, e\}$

グラフの切断点 (復習)

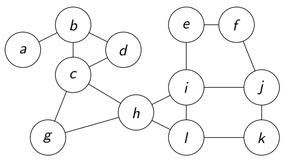
無向グラフ $G = (V, E)$，頂点 $v \in V$

グラフの切断点とは？

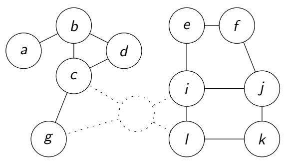
v が G の切断点であるとは，
G から v を除去したグラフ $G - v$ に対して次が成り立つこと

$G - v$ の連結成分の数 $>$ G の連結成分の数

h は G の切断点　(「v を除去」とは，v と v に接続する辺すべてを除去すること)



G



$G - h$

目次

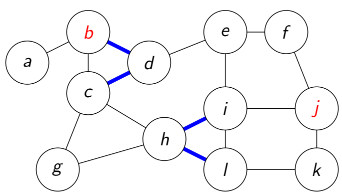
非連結化集合：無向グラフ

無向グラフ $G = (V, E)$，異なる 2 頂点 $s, t \in V$

非連結化集合とは？

辺部分集合 $F \subseteq E$ が G の s, t 非連結化集合であるとは，
$G - F$ において，s から t への道が存在しないこと

青い辺から成る集合は b, j 非連結化集合



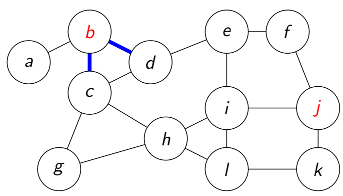
辺連結度：無向グラフ

無向グラフ $G = (V, E)$，異なる 2 頂点 $s, t \in V$

辺連結度とは？

G の s, t 辺連結度とは，
G の s, t 非連結化集合の要素数の最小値

$\lambda_{s,t}(G)$ で表す　($\lambda_G(s, t)$，$\lambda(G; s, t)$ と表すこともある)



$\lambda_{b,j}(G) = 2$

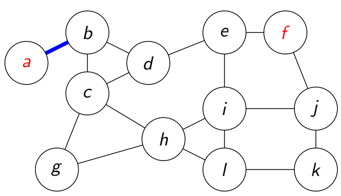
これは局所的，部分的なリンク故障耐性を表す

大域辺連結度：無向グラフ

無向グラフ $G = (V, E)$

大域辺連結度とは？

G の大域辺連結度とは，$\lambda(G) = \min\{\lambda_{s,t}(G) \mid s, t \in V, s \neq t\}$
つまり，s, t 辺連結度の (s, t の選び方に関する) 最小値



$\lambda(G) = \lambda_{a,f}(G) = 1$

これは大域的，全体的なリンク故障耐性を表す

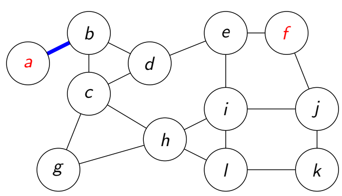
辺連結性：無向グラフ

無向グラフ $G = (V, E)$，自然数 $k \geq 0$

辺連結性とは？

G が k 辺連結であるとは，$\lambda(G) \geq k$ であること
つまり，要素数 $k - 1$ 以下の辺部分集合を除去して G を非連結にできない

このグラフは 1 辺連結であるが，2 辺連結ではない



注：G が連結 $\Leftrightarrow$ G が 1 辺連結

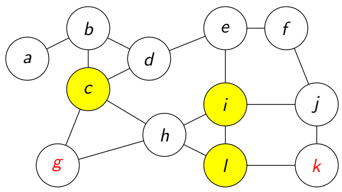
分離集合：無向グラフ

無向グラフ $G=(V,E)$，異なる 2 頂点 $s,t \in V$ (ただし，$\{s,t\} \notin E$)

分離集合とは？

頂点集合 $S \subseteq V - \{s,t\}$ が G の s,t 分離集合であるとは，
$G-S$ において，s から t への道が存在しないこと

黄色の頂点から成る集合は g,k 分離集合



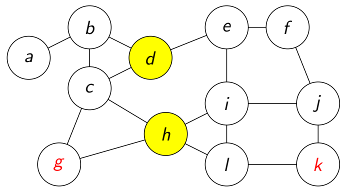
点連結度：無向グラフ

無向グラフ $G=(V,E)$，異なる 2 頂点 $s,t \in V$ (ただし，$\{s,t\} \notin E$)

点連結度とは？

G の s,t 点連結度とは，
G の s,t 分離集合の要素数の最小値

$\kappa_{s,t}(G)$ で表す　($\kappa_G(s,t)$, $\kappa(G;s,t)$ と表すこともある)



$\kappa_{g,k}(G)=2$

これは局所的，部分的なノード故障耐性を表す

大域点連結度：無向グラフ

無向グラフ $G=(V,E)$

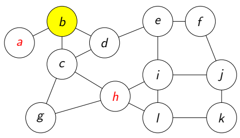
大域点連結度とは？

G の大域点連結度とは，G が完全グラフではない場合

$$\kappa(G) = \min\{\kappa_{s,t}(G) \mid s,t \in V, s \neq t, \{s,t\} \notin E\}$$

つまり，s,t 点連結度の (s,t の選び方に関する) 最小値

頂点数 n の完全グラフ K_n に対して，$\kappa(K_n) = n-1$ と定義する



これは大域的，全体的なノード故障耐性を表す

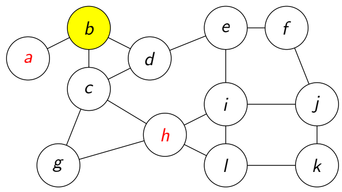
点連結性：無向グラフ

無向グラフ $G=(V,E)$，自然数 $k \geq 0$

点連結性とは？

G が k 点連結であるとは，$\kappa(G) \geq k$ であること
つまり，要素数 $k-1$ 以下の頂点部分集合を除去しても G は連結

このグラフは 1 点連結であるが，2 点連結ではない



注：G が連結 $\Leftrightarrow$ G が 1 点連結

用語の対応：無向グラフ

辺	頂点
s,t 非連結化集合	s,t 分離集合
s,t 辺連結度	s,t 点連結度
$\lambda_{s,t}(G)$	$\kappa_{s,t}(G)$
大域辺連結度	大域点連結度
$\lambda(G)$	$\kappa(G)$
k 辺連結	k 点連結

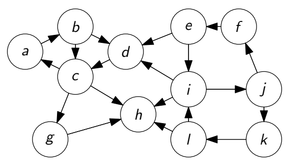
- s,t 非連結化集合を，s,t 辺カットと呼ぶことがある
- s,t 分離集合を，s,t 点カットと呼ぶことがある

有向グラフの強連結性

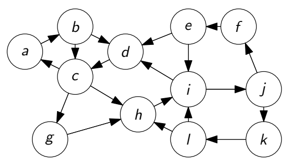
有向グラフ $G=(V,A)$

有向グラフが強連結であるとは？

G が強連結であるとは，
任意の 2 頂点 $u,v \in V$ に対して，u から v へ至る有向道が存在すること



強連結でない



強連結である

注：「グラフが強連結している」とは言わない

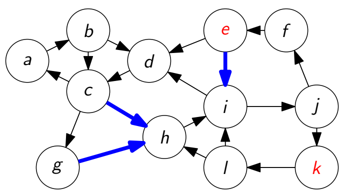
非連結化集合：有向グラフ

有向グラフ $G=(V,A)$，異なる 2 頂点 $s,t \in V$

非連結化集合とは？

弧部分集合 $F \subseteq A$ が G の s,t 非連結化集合であるとは，
$G-F$ において，s から t への有向道が存在しないこと

青い弧から成る集合は e,k 非連結化集合



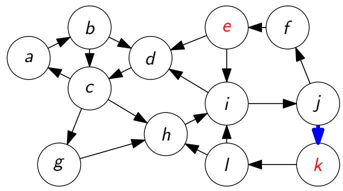
弧連結度：有向グラフ

有向グラフ $G=(V,A)$，異なる 2 頂点 $s,t \in V$

弧連結度とは？

G の s,t 弧連結度とは，
G の s,t 非連結化集合の要素数の最小値

$\lambda_{s,t}(G)$ で表す　($\lambda_G(s,t)$, $\lambda(G;s,t)$ と表すこともある)



$\lambda_{e,k}(G) \leq 2 = 1$

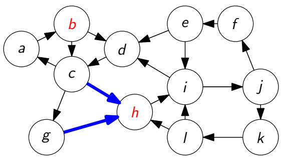
これは局所的，部分的なリンク故障耐性を表す

弧連結度：有向グラフ (注意)

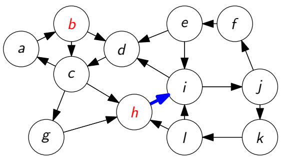
有向グラフ $G = (V, A)$，異なる 2 頂点 $s, t \in V$

注意

$\lambda_{s,t}(G) \neq \lambda_{t,s}(G)$ かもしれない



$\lambda_{b,h}(G) = 2$



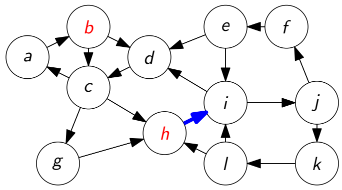
$\lambda_{h,b}(G) = 1$

大域弧連結度：有向グラフ

有向グラフ $G = (V, A)$

大域弧連結度とは？

G の大域弧連結度とは，$\lambda(G) = \min\{\lambda_{s,t}(G) \mid s, t \in V, s \neq t\}$
つまり，s, t 弧連結度の (s, t の選び方に関する) 最小値



$\lambda(G) = 1$

これは大域的，全体的なリンク故障耐性を表す

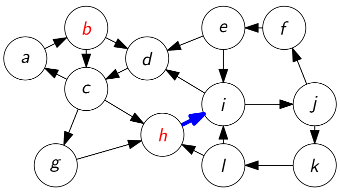
弧連結性：有向グラフ

有向グラフ $G = (V, A)$，自然数 $k \geq 0$

弧連結性とは？

G が k 弧連結であるとは，$\lambda(G) \geq k$ であること
つまり，要素数 $k-1$ 以下の弧部分集合をどう除去しても G は強連結

このグラフは 1 弧連結であるが，2 弧連結ではない



注：G が強連結 ⇔ G が 1 弧連結

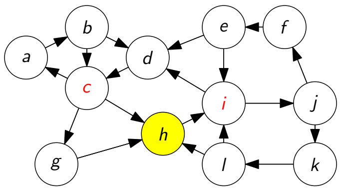
分離集合：有向グラフ

有向グラフ $G = (V, A)$，異なる 2 頂点 $s, t \in V$ (ただし，$(s, t) \notin A$)

分離集合とは？

頂点集合 $S \subseteq V - \{s, t\}$ が G の s, t 分離集合であるとは，
$G - S$ において，s から t への有向道が存在しないこと

黄色の頂点から成る集合は c, i 分離集合



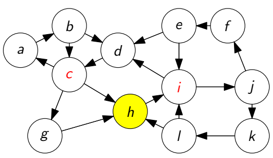
点連結度：有向グラフ

有向グラフ $G = (V, A)$，異なる 2 頂点 $s, t \in V$ (ただし，$(s, t) \notin A$)

点連結度とは？

G の s, t 点連結度とは，
G の s, t 分離集合の要素数の最小値

$\kappa_{s,t}(G)$ で表す　($\kappa_G(s, t)$, $\kappa(G; s, t)$ と表すこともある)



$\kappa_{c,i}(G) = 1$

これは局所的，部分的なノード故障耐性を表す
注：$\kappa_{s,t}(G) \neq \kappa_{t,s}(G)$ かもしれない

大域点連結度：有向グラフ

有向グラフ $G = (V, A)$

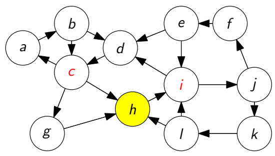
大域点連結度とは？

G の大域点連結度とは，ある $u, v \in V$ に対して $(u, v) \notin A$ であるとき，

$$\kappa(G) = \min\{\kappa_{s,t}(G) \mid s, t \in V, s \neq t, (s, t) \notin A\}$$

つまり，s, t 点連結度の (s, t の選び方に関する) 最小値

任意の $u, v \in V$ ($u \neq v$) に対して $(u, v) \in A$ であるとき，$\kappa(G) = |V| - 1$ と定義



$\kappa(G) = 1$

これは大域的，全体的なノード故障耐性を表す

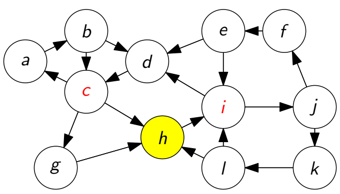
点連結性：有向グラフ

有向グラフ $G = (V, A)$，自然数 $k \geq 0$

点連結性とは？

G が k 点連結であるとは，$\kappa(G) \geq k$ であること
つまり，要素数 $k-1$ 以下の頂点部分集合をどう除去しても G は強連結

このグラフは 1 点連結であるが，2 点連結ではない



注：G が強連結 ⇔ G が 1 点連結

用語の対応：有向グラフ

弧	頂点
s, t 非連結化集合	s, t 分離集合
s, t 弧連結度	s, t 点連結度
$\lambda_{s,t}(G)$	$\kappa_{s,t}(G)$
大域弧連結度	大域点連結度
$\lambda(G)$	$\kappa(G)$
k 弧連結	k 点連結

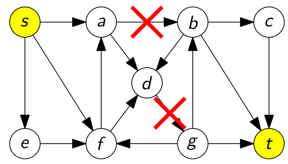
- s, t 非連結化集合を，s, t 弧カットと呼ぶことがある
- s, t 分離集合を，s, t 点カットと呼ぶことがある

目次

s, t 弧連結度をどのように計算するか？

目標

s, t 弧連結度の計算を最大流問題としてモデル化する



最大流問題としてのモデル化：着眼点

観察

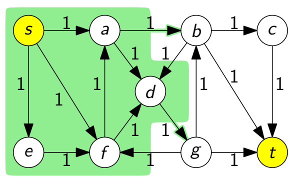
弧を除去すると s から t へ行けなくなる

$\Rightarrow$ 弧を除去した後に，s からたどり着ける部分は G の s, t カット

$\Rightarrow$ 除去した弧の数 ＝ その s, t カットから出る弧の数

$\Rightarrow$ 全ての弧容量 ＝ 1 ならば，
s, t カットから出る弧の数 ＝ s, t カットの容量

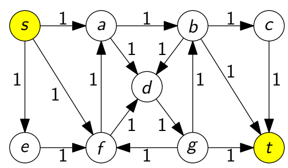
$\therefore$ 最小 s, t カットの容量から弧連結度が分かる



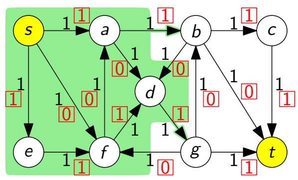
最大流問題としてのモデル化

モデル化

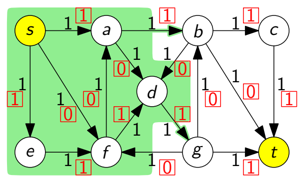
- グラフ：そのまま
- 容量：すべての弧の容量 ＝ 1

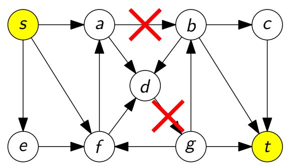


最大流問題：最大流と最小 s, t カット



解いた結果を再解釈 (1)

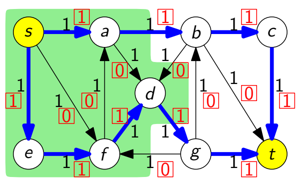




- s, t カットから出る弧が弧連結度を与える
- 流れは何に対応するか？

整数流定理と容量の決め方から，各弧上を流れている量は 0 か 1

解いた結果を再解釈 (2)

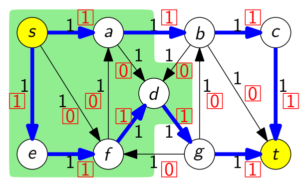


- 1 だけ流れている弧だけ見てみると，道が構成できる
- 道の数 ＝ 最大流の値 ＝ 弧連結度
- $\therefore$ 流れが道に対応している
- 注：これらの道は同じ弧を共有しない

「流れ」という比喩

流れ	——	道
たくさん流す	——	道を多く選ぶ

Menger の定理



最大流最小カット定理より，
任意の有向グラフ $G = (V, A)$，任意の $s, t \in V$ に対して

Menger の定理

s から t へ至る道で弧を共有しないものの最大数 ＝ s, t 弧連結度

Karl Menger

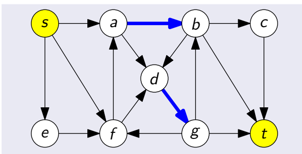
Karl Menger
カール・メンガー
(1902–1985)

http://en.wikipedia.org/wiki/Karl_Menger

双対性の利用法

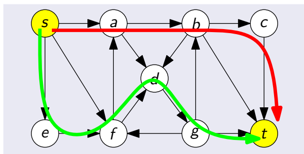
次のグラフの s,t 弧連結度は何か？

上界



s,t 弧連結度 ≤ 2

下界



s,t 弧連結度 ≥ 2

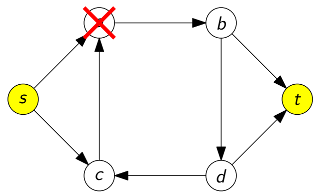
したがって，s,t 弧連結度 $= 2$

目次

s,t 点連結度をどのように計算するか？

目標

s,t 点連結度の計算を最大流問題としてモデル化する



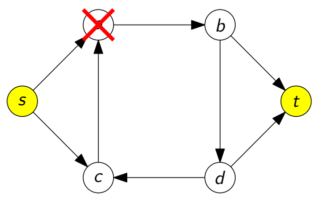
最大流問題としてのモデル化：着眼点

観察

弧連結度のときと同様に，s,t カットを見てみたい

- しかし，カットを見るときに壊すのは弧

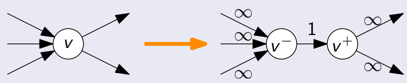
$\therefore$ 頂点の問題を弧の問題に変換するため，グラフに操作を施す

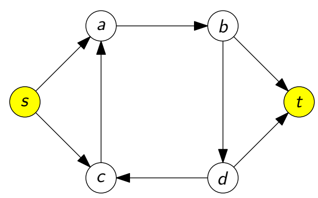


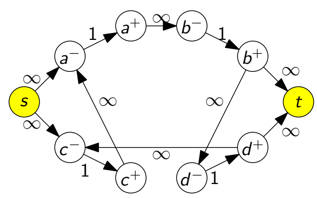
最大流問題としてのモデル化：操作

行う操作

各頂点に対して次の操作を行い，弧の容量も次のように定める





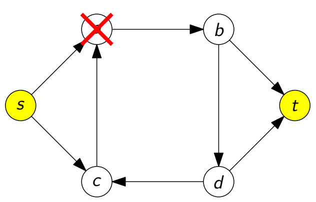


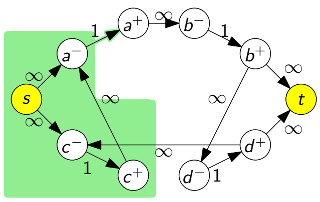
最大流問題としてのモデル化：操作に対する直感

- 最小 s,t カットから容量 ∞ の弧が出ていけない

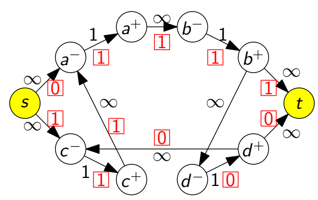
$\therefore$ 最小 s,t カットから出る弧の容量はすべて 1

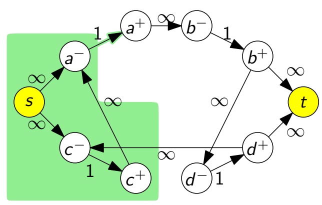
- そのような弧はもとのグラフにおける頂点に対応
- 対応する頂点を取り除けば，s から t に行けなくなる





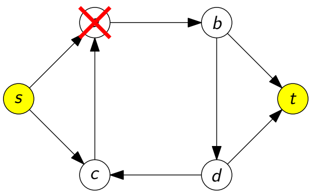
最大流と最小 s,t カット

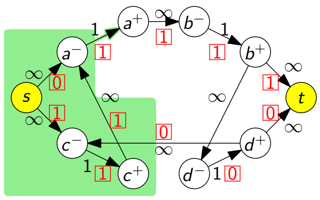




最大流の値 $= 1 =$ 最小 s,t カットの容量

解いた結果を再解釈 (1)

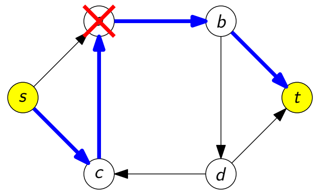


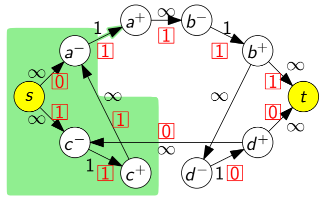


- カットから出る弧に対応する頂点が点連結度を与える
- 流れは何に対応するか？

整数流定理と容量の決め方から，各弧上を流れている量は 0 か 1

解いた結果を再解釈 (2)



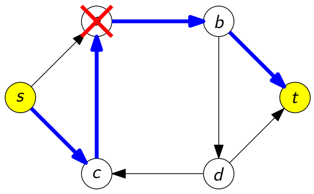


- 1 だけ流れている弧に対応する部分は道になる
- 道の数 ＝ 最大流の値 ＝ 点連結度
- ∴ 流れが道に対応している
- 注：これらの道は s, t 以外の頂点を共有しない

「流れ」という比喩

流れ	——	道
たくさん流す	——	道を多く選ぶ

Menger の定理 (点連結度版)



最大流最小カット定理より，
任意の有向グラフ $G = (V, A)$，任意の $s, t \in V$ (ただし，$(s, t) \notin A$) に対して

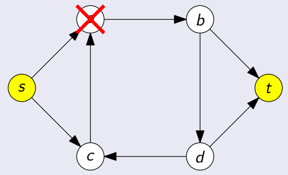
Menger の定理

s から t へ至る道で頂点を s, t 以外共有しないものの最大数 ＝ s, t 点連結度

双対性の利用法

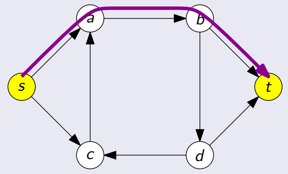
次のグラフの s, t 点連結度は何か？

上界



s, t 点連結度 ≤ 1

下界



s, t 点連結度 ≥ 1

したがって，s, t 点連結度 $= 1$

補足：無向グラフにおける辺連結度と点連結度

Menger の定理は無向グラフでも成立する

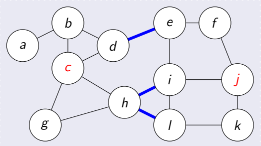
Menger の定理 (無向グラフ版)

- 任意の無向グラフ $G = (V, E)$ と任意の $s, t \in V$ に対して
  s から t へ至る道で辺を共有しないものの最大数 ＝ s, t 辺連結度
- 任意の無向グラフ $G = (V, E)$ と
  任意の $s, t \in V$ (ただし，$\{s, t\} \notin E$) に対して
  s から t へ至る道で s, t 以外に頂点を共有しないものの最大数 ＝ s, t 点連結度

証明は省略 (弱双対性は演習問題 (数え上げによる証明))

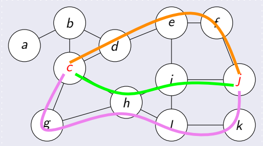
双対性の利用法

上界



c, j 辺連結度 ≤ 3

下界

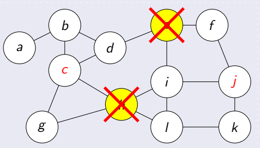


c, j 辺連結度 ≥ 3

したがって，c, j 辺連結度 $= 3$

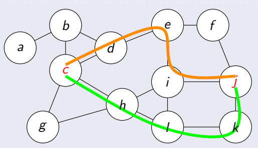
双対性の利用法

上界



c, j 点連結度 ≤ 2

下界



c, j 点連結度 ≥ 2

したがって，c, j 点連結度 $= 2$

目次

今日のまとめ

今日の目標

- グラフの連結性に関する概念を理解し，正しく使えるようになる
- 連結度に関する Menger の定理を最大流と関係づけられるようになる